

## 現状業務の見える化から始める「業務改善・生産性改革」のすすめ方 (4120103)

～テストがとて楽になる！～

現状業務の見える化から始める「業務改善・生産性改革」のすすめ方

本セミナーでは、まず、はじめに、日本企業の生産性が低い構造問題を解き明かします。そして、『業務の見える化メソドロジー』から始める、欧米流のプラクティスを導入した生産性向上フレームワークを使って、生産性向上の根本的で具体的な方法を学んでいただきます。IT主導型の業務改善・生産性向上改革を進めている方、テストの抜本改革を考えている方、必見の講座です。

開催日時	2020年10月21日(水) 10:00-17:00
カテゴリ	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 <b>専門スキル</b>
講師	宗雅彦 氏 (株式会社サイクス 代表取締役・プリンシパルコンサルタント) システム思考とデザイン思考を統合したビジネスモデル創造体系の研究・普及活動を基盤に、IT活用による経営変革/生産性向上/デジタルトランスフォーメーションの推進と人材育成を支援。 国際NPO団体IIBA(カナダ・トロント)にてBABOK(ビジネスアナリシスの知識体系ガイド)バージョン3(英語版)開発リーダー。JISA(情報サービス産業協会)「ビジネスアナリシス部会(2014年委員会)」委員。「ITエンジニアのためのビジネスアナリシス」、「ソフトウェア要求」、「アジャイルソフトウェアマネジメント」、「体系的ソフトウェアテスト入門」など訳書、多数。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,800円 一般 : 43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (ユニゾ堀留町二丁目ビル2階)
対象	現状業務改革・生産性向上改革のリーダー、ユーザー企業のIT部門、情報システムグループ会社、ベンダー企業の方、現場でテスト改革を進めている方 <b>初級</b>
開催形式	講義、グループ演習
定員	15名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9463
ITCA認定時間	6

### 主な内容

～テストがとて楽になる！～

現状業務の見える化から始める「業務改善・生産性改革」のすすめ方

IT主導による業務生産性向上に業務改善、大号令のもと、膨大な努力がはらわれているにもかかわらず、うまくいった例をなかなか聞きません。ドイツ製造業の生産性は日本のその1.5倍、米国サービス業の生産性も、IT投資対効果も、日本の2倍。(労働生産性の国際比較2016年度版 公益財団法人 日本生産性本部 2016年他参照) この状況を放置すれば、企業も国も沈みます。

このセミナーでは、まず、はじめに、日本企業の生産性が低い構造問題を解き明かします。そして、『業務の見える化メソドロジー』から始める、欧米流のプラクティスを導入した生産性向上フレームワークを使って、生産性向上の根本的で具体的な方法を学んでいただきます。IT主導型の業務改善・生産性向上改革を進めている方、テストの抜本改革を考えている方、必見の講座です。

プログラム

本講座で取り上げる事項

## 第1章 生産性の本当の意味を知らない日本人

- 1.1 ドイツ製造業の生産性は日本の1.5倍、  
米国サービス業の生産性は日本の2倍、  
このままでは国が沈む日本
- 1.2 生産性向上の本当の意味
- 1.3 なぜ日本の生産性は、こんなに低いのか？
  - ・業務生産性向上の正当な方法を理解する
  - ・欧米の常識、日本の非常識
- 1.4 IT活用で生産性向上するために必要なこと

日本と世界の生産性格差  
生産性の定義  
生産性向上戦略  
プロセスモデリング  
システム思考  
ゴール思考  
バックキャストメソッド  
仕掛かり作業  
IT活用・バイモダルIT

## 第2章 業務生産性向上フレームワーク

- 2.1 現状業務の見える化
  - ・仕事の仕組みを明らかにする
  - ・生産性向上によく効く仕事の仕組みの表記法
  - ・業務の見える化メソッドロジー
- 2.2 問題を洞察する
- 2.3 生産性向上戦略とゴール設定
- 2.4 シンプルな業務プロセスを設計する

仕事の構造の見える化  
インターフェースの見える化  
プロセス表記法：マジカ  
問題洞察手法  
生産性向上戦略の立案  
ゴール設定  
バックキャストメソッド

## 第3章 「現状業務の見える化」ワークショップ

- 3.1 【演習】現状業務を見える化する
- 3.2 【演習】仕掛かり作業を見える化する

仕事の構造の見える化  
演習  
仕掛かり作業の見える化  
演習

## 第4章 次ステップへの進め方

- 4.1 DX（デジタルトランスフォーメーション）と生産性向上
- 4.2 次ステップに進むために必要なこと

DX：デジタル・トランスフォーメーション

### ◆過去参加者の声◆

- ・モデル化が簡潔でわかりやすく、講師の方の話題性や進め方がとてもよかった（通信）
- ・非常に有意義な可視化の方法が理解できた（医薬）
- ・わかりやす聞きやすく、業務に取り入れ反映しやすい内容であった（通信）
- ・これまでもやもやしていた業務フローの各要素の抽出の仕方が、具体的に、理論的に理解できた（電気）

---

【宗先生の DX時代の生産性向上・新サービスビジネス創出セミナーシリーズ】  
あわせてご参加いただくとより効果的です。ぜひご参加ください！

☆現場で即実践的に活用できる、企画段階からのテスト改革のすすめ方  
2020年11月25日（水）

<https://juasseminar.jp/seminars/view/4120098>

☆デジタルトランスフォーメーション～ホップ・ステップ・ジャンプ  
2020年12月2日（水）10:00-17:00

<https://juasseminar.jp/seminars/view/4120101>

